

みどりかがやく

進路について考える

花壇に花を付けているペチュニアが11株あります。このペチュニアは昨年度の卒業式の時、壇上に咲いていた株です。卒業式の際に90株あったペチュニアを5月28日に地植えしました。梅雨を乗り越え、夏の暑さに耐え、秋を過ぎ、今に至ります。3月14日に本校へ来てから、8か月も絶やさずに花を付けてくれています。ペチュニアは野草ではありませんが、その姿に植物の力強さを感じます。

私たちは保護者の方から大切なお子様を3年間お預かりします。中学校3年間は心も体も大きく成長する時期です。小学校の時よりも増える学習内容、友だちとの意見の食い違いなど、いろいろなことを経験し成長していきますが、最終的な目標の1つに、自分に合った進路実現を図ることがあります。

本校では、本年度、埼玉県進路指導・キャリア教育研究会の委嘱を受け、進路に関する研究を進め、主に授業改善に取り組んできました。生徒の変容を知るために、1学期と2学期に子どもたちにアンケート調査を行ったところ、「授業に主体的に取り組んでいる」の項目では、どの学年でも数値が増加しました。特に3年生については、進路選択が目前に迫ってきたためか、69%から79%への10ポイントの増加が見られました。

「将来のことについて考えている」の項目では、どの学年でも10ポイント以上増加しました。全体では15ポイント以上の増加になります。また、グラフはありませんが、「自分の将来の夢や目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしている」の項目でも全体で10ポイント以上の増加が見られました。

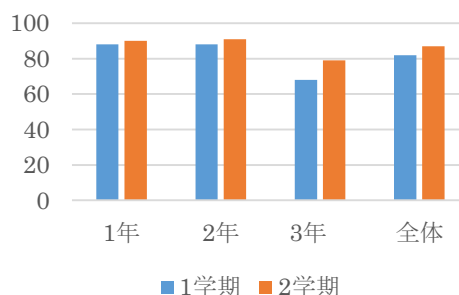
中学校3年間はまだまだ、保護者の方の大きな力で、守られていないと成長できない時期かも知れません。それでも、子どもたちが自分の将来のことを考え、少しずつ自分の殻を破り、できなかったことができるようになっていく姿にはたくましさを感じます。野草ではないペチュニアも、8か月以上絶えず花を咲かせられる株もあります。本校の子どもたちも、そんな強さを持ち、自らの花を咲かせ、自らの進路実現を図ってほしいと願っています。



花壇に咲いているペチュニア

8か月以上花を付けています

授業に主体的に取り組んでいる



将来のことについて考えている

